

## 海外教員招聘報告

2018年11月5日

エドゥアルド・デルガード先生のピアノ公開レッスンが開催されました。デルガード先生は1990年代に数年間、洗足学園音楽大学の客員教授を務められて以来、20数年ぶりの学園来訪となりました。

現在ロスアンゼルス在住ですが世界各国でリサイタル、オーケストラとの共演、マスタークラス、コンクール審査などでご活躍なさっていらっしゃいます。

この日は、サントリーホールブルーローズでのリサイタル2日後でしたが、お疲れも見せず大学院生5名のレッスンをしてくださいました。

レッスン中に先生が弾いて示してくださる音の美しさとニュアンスの豊富さには本当に圧倒されます。

どの学生に対しても、とにかく自分の出している音をよく聴き、音のクォリティに徹底的にこだわることをご指導頂きました。

ピアニストとして何を感じて、音楽で何をしゃべりたいのか、感じたことを表現する為の音の出し方、具体的な指や腕の使い方、響きが死なないように指で響きを歌わせるやり方、音色を作る秘密やトレーニングの仕方、ペダリング、指づかいの大切さ、先生が長年築いていらした演奏の真髄を惜しげなく教えてくださいました。先生のお言葉やどんどん弾いてくださるその音からは、キャリアを積んでもなお音楽に謙虚に対峙する先生の人生そのものを見せて頂いたような気がして深い感動を覚えた一日でした。



